



# 在京関中一高会 会報

## 若返りの定着へ期待

在京関中一高会会長 柳澤 惇(昭和32 - 56回卒)



会員の皆様にかかれましてはご健勝にてお過ごしのことと拝察いたしております。

私が第6代の会長に任じられて早や三年が経過し、昨年の総会はご来賓を含め140名ご出席の盛況で若返りも着実に進んでいると思われま。今年は平泉が世界遺産に登録される期待が膨らむ一方で、母校新校舎が昨年落成し、今年には母校創立110周年を迎えます。又、来年は母校が公立校で県下初の中・高一貫校となります。

こうした折、今年の総会に故大島英介先生のご子息である大島晃一氏(一関博物館、昭46 - 70回卒)を講師としてお迎えし、変貌する故郷・一関の歴史や自然に改めて思いを馳せて頂こうと考えております。

さて、わが会の運営についてであります。一昨年は61回卒、昨年は59回卒から夫々講師を出して頂き、総会の幹事役の役割を担って頂き、総会の若返り、活性化に大いに貢献して頂きました。私が力を入れてきました団塊の世代まで(昭43 - 67回卒)の年次の充実が少しずつ実を結びつつあります。しかし、未だ総会との繋がりが弱い年次もありますが、徐々に繋がりが深まる兆しもありますので、我々役員・各年次幹事一同更に努力する所存でありますので何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

## 新校舎は 整備されて

一関一高同窓会会長 佐藤 悦郎(昭和21 - 45回卒)



東京支部の皆さん、いつも同窓会運営に関しましては、格段の御協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

本年の各支部総会は、東山支部、花泉支部が2月に終了、盛岡支部が5月の開催です。

昨年四月から使用している新校舎で、本年は3月一日初めての卒業式を挙行致し、校舎新築や引越しなどで大変苦勞をかけた生徒240名の卒業生をお送りしました。続いて4月7日に入学式を挙行。年度末の先生方の移動では、18名の退、転任があり、新しく16名の先生方を迎え、新年度のスタートを、順調に切りました。

新築された校舎の周囲は環境整備され、正面入口には、校門が新設されて、来年度発足の中学校の校舎設置予定のスペースが目ま引いています。グラウンド・テニスコートが最後の仕上げに入っており、程なく完成の見込みです。

今年の本部総会は、10月5日に開催されます。又協賛会では校舎落成並に百拾周年記念式典を、11月8日、文化センターで、祝賀会をベリーノホテルで開催すべく、実施案を協議しているところです。

近況並に主たる事業の報告を記しましたが、今後とも母校の発展の為に尚一層の御高配をお願いしまして御挨拶と致します。

## 新たな門出

一関一高 校長 山田 市雄



在京関中一高会の皆様には、母校に対し熱い思いを抱きながら日々ご活躍のことと存じます。

私はこの度の人事異動により四月からお世話になっております校長の山田と申します。県内二番目の歴史と伝統を誇るこの一関一高に奉職できますことに対し、身の引き締まる思いであります。出身は気仙沼で前任校は釜石南高校です。一関地区はこれまで30数年の教員生活では勤務経験がなく毎日がなにもかも新鮮であります。

学校の方はまだ年度始めのあわただしさの渦中にありますが、今年入学した全日制244名、定時制11名は、一日も早く「関高生」になるうと中学校とは比べものにならないスピード感のある授業や部活動(指導)に必死の毎日で、まさに学校全体が本格的な春の到来とともに一気に躍動感に溢れてまいりました。

今年度、本校は、来年開校する中高一貫校の準備と11月8日に予定されている新校舎落成及び創立110周年の記念式典事業の準備にかなりの労力が割かれそうですが、とりわけ中高一貫校については本県初の試みだけに県議会でも何度が取り上げられ、目下、県下でも最も注目されている学校となっております。

生徒たちには、一関一高が一層のステップアップを図る上で絶好のチャンスだ、全員一丸となって新しい歴史づくりにがんばろうと檄を飛ばしているところであります。

同窓会の皆様には、生徒のみならず我々教職員に対しても一層の叱咤激励をお願いするものであります。

(昭和50年 早稲田大学教育学部理学科数学専修卒業)

## 「高い峰」への飛躍を願って

一関一高 前校長 平野 清八



盛岡市にある高松の池は桜が例年になく早く咲き始め、鶯の声が聞こえ、北国にも一斉に春がやってきました。私ごとですが、この3月で一関一高を定年退職いたしました。在任中は、一関一高同窓会特にも在京関中一高会の

みなさまには物心両面にわたりご支援を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。毎年「ホテルベルクラシック」で開催された総会に招かれて参加しました。さすが「関中一高」、各先輩のすばらしさと人数の迫力と内容の濃さに驚きました。これが、まさに後輩を支えている伝統と頼もしく感じた次第です。

願ひますと教員のスタートが一関一高であり、2度目は教頭として、第33代校長畠中祥夫先生のご指導があり、甲子園出場の快挙に遭遇しました。教員最後の勤務先として一関一高に3度目の奉職でした。有り難いことと感謝しております。

昨春、硬式野球部の東北大会制覇は公立高校21年ぶりの快挙であり、「さあ夏の甲子園」と期待で胸がふくらみました。在校生は文武両道に夏と冬のけじめなく励んでおり進学実績はもとより、運動部も学芸部も全国を舞台に活躍してくれました。また、県で最初の併設型中高一貫校として来年の春に入学生を迎えます。これを契機に創立当時の盛岡、仙台の中間に位置するもう一つの高峰に一関一高が復活することを望んでいます。

最後になりましたが、一関一高のますますの飛躍と隆盛、在京関中一高会のご発展を祈念いたしまして感謝とお礼の挨拶といたします。

# 平成19年度在京関中一高会 総会・講演会

## 第1部 総会



出席者の集合写真



## 第2部 講演会

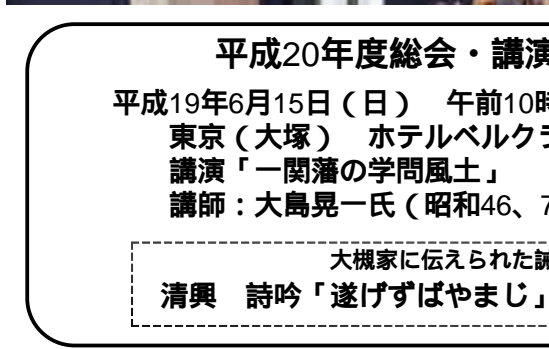
「私の編集者人生」 講師：島地勝彦氏（昭35 - 59回）



# 第3部 懇親会

平成19年6月26日 ホテルベルクラシック東京

【会場スナップ】



## 平成20年度総会・講演会・懇親会

平成19年6月15日(日) 午前10時半受付開始  
東京(大塚) ホテルベルクラシック東京  
講演「一関藩の学問風土」  
講師：大島晃一氏(昭和46、70回卒)

大槻家に伝えられた誠語より  
清興 詩吟「遂げずばやまじ」 佐藤建男(昭23-47回)

## 同期会ニュース

同期会「寿久会」の動向：昭25 - 49回、戦中からの、旧関中・一関高・社会人としての各人の思い出、足跡を纏めた『蛍雪の功績んで五十年』を発行(平成8年5月岩手日日新聞社)。第二版平成10年9月。会員の消息、活動、思い出を語る『寿久会たより』を平成11年6月より、年2回発行。今回18号を数える。学制改革により、昭和24年4月、一関市内4校が一つに纏められ「一関高等学校」となった時の初代自治会委員長千田章氏は3月25日逝去、合掌。(青木賢一)二六会・祝喜寿：昭26 - 50回、20年4月13日、明治記念館で在京会員中心に35名参加し、喜寿を祝う。(久保田武光)二九会修学旅行：昭29-53回、20年3月4・5日、横浜、江ノ島そして鎌倉を修学旅行。総勢60名が参加。いま発展著しい横浜の街に文明開化当時の面影とその未来を見学。宵は中華街「重慶飯店」で懇親会。翌日、由比ヶ浜、七里ヶ浜を経て江ノ島・鎌倉大仏を巡り、若宮大路を散策し鶴岡八幡宮に詣でる。続いて鎌倉五山第一位建長寺、第二位円覚寺を拝観。七十余歳、意気軒昂にして来年には卒業55周年同期会の開催を期す。(久)昭30 - 54回卒盛岡地区同期会：20年4月17・18日、休暇村岩手綱張温泉で開催。同期の歴史研究家鈴木幸彦氏の講話「大槻

玄沢生誕250周年、没後180周年記念事業を終えて」のあと懇談会。東京からも参加し盛会。(安富美智子)昭32 - 56回：昨年9月7、8日に卒業50周年・古希祝いの会を一関・浪泉閣で開催、台風襲来で男子60、女子16名と76名の出席はやや少なめ。記念事業として母校新校舎見学、備品充実費(26万円分の図書券寄贈) 関中・一高の歩み「ああ青春」発行、8日の希望者による観光とゴルフコンペによる懇親で幕を閉じた。今後は各組持ち回り幹事で地元中心の同期会になるが、域外参加も勿論大歓迎で元気で再会が合言葉。(柳澤 惇)卒業50周年と古希の祝い：昭33 - 57回、20年10月11・12日、全国より一関・浪泉閣に集合予定。詳細計画中。(安生由美)関東地区珊瑚会：昭35-59回、20年2月2日、貿易センタービル「謝朋殿」に於いて一関、仙台計3名を含む38名で20年度総会。本部同窓会副会長細川正二君の乾杯の音頭で始まり、たっぷり三時間楽しむ。(高岡 繁)在京三九会：昭39 - 63回、19年11月18日、青山の「NHK青山荘」に一関、仙台的5名を含め40名集合。清酒「不屈不撓」で乾杯、大いに歓談。(岩淵雅孝)六六会卒業四十周年記念同期会：昭42-66回、19年10月27日(一泊)、一関「浪泉閣」に全国から110名参加。28日はゴルフ組22名と平泉散策ツアーに分かれて旧交を深めた。今年の「還暦祝い」は、各地ごとに計画予定。(熊谷卓哉)

## 会員トピックス

佐藤成元(昭27 - 51回)：日本画家、日展会友。19年11月国立新美術館、第39回日展「環(わ)」と題した「輪尾狐猿」を描いて出品。今年も期待しましょう。(編集部)千葉泉弘(昭27 - 51回)：日本ユネスコ協会連盟理事。20年3月19日、一関文化センターで一関青年会議所主催の講演会で『未来の架け橋となる為に』と題して講演。ユネスコ勤務、国際基督教大学教授の経験から国際的視野を持つ人間育成することの重要性を強調。(編集部)伊藤孝雄(昭30 - 54回)：劇団民芸俳優。小幡欣治作『明石原人』中国地方公演を終え、来る5月から九州公演。12月には原田康子『海霧』(東京・三越劇場)に出演。(安富美智子)菅原チネ子(昭32 - 56回)：劇団朋友俳優。19年12月、六本木俳優座で35回講演『ロッカビーの女たち』ハティー役で賞禄の公演。20年5月15～18日菊池寛『父帰る』MAKOTOシアター銀座。客演。(編集部)千田隼生(昭32 - 56回)：劇団銅鑼俳優。劇団創立35周年記念公演『はい、奥田製作所』20年3月、俳優座劇場で復帰(昨年度体調不良で休演)。(編集部)見山秀典(昭和33 - 57回)：平成20年2月、ふるさと花泉会主催のふるさと塾講演会で、花泉高校生向けに『グローバル化時代の企業マネジメント』と題して講演。「国際化社会で通用

する人間を目指してほしい」と呼びかけた。(編集部)千葉忠夫(昭34 - 58回)：デンマーク在住41年。朝日新聞(20年3月25日付)夕刊の「ニッポン・人脈記」に登場。師と仰ぐB.Eバンクミケルセン氏が唱える「人間らしい生すべての人に」の理念を実践。17年度同窓会総会では帰国時の多忙の中挨拶す。(編集部)小山芳部(昭和39 - 63回)：NHK文化センター八王子支社長。昨年10月の本部総会で『わたくしの世界遺産』と題して、NHKプロデューサー時代の交友録を講演。(編集部)馬里邑(吉田)れい(昭43 - 67回)：作家。岩手日々新聞「日曜エッセー」20年4月から2度目の登場。(編集部)小松澤(井原)陽一(昭44 - 68回)：映画ジャーナリスト。話題の「夕張国際映画祭」に貢献。本年3月『ゆうばり映画祭物語』を平凡社から出版。応援よろしく。(編集部)岩淵憲昭(昭57 - 81回)：元劇団四季俳優。『ミュージカル平泉』(同上演委員会主催。平成21年3月一関で上演予定)の演出助手を担当。実行委員長は阿部興紀(昭32 - 56回)。(編集部)佐藤恵利(昭62 - 86回)：藤原歌劇団、声楽家。今年1月『美女と野獣』で好演。4月には「リラの会」出演。8月には門前仲町、門仲天井ホールで『オルフェとエウディーチュ』にアモーレ(愛の神)で出演決定。21年2月22日、オーチャードホールでの日本オペラ協会50周年記念公演『天守物語』の亀姫役出演予定。応援よろしく。(佐藤恵利)

## クラブOB会ニュース

在京関高野球部OB会 平成19年度総会：19年11月10日、信濃町「桂林」に鈴木浩監督(平成元 - 88回)、三浦栄蔵本部OB会長(昭和31 - 55回)など来賓3名、学生会員9名を含む総勢27名で開催。新幹事長高橋伸(昭和56 - 80回)の司会で懇親会。母校硬式野球部首都圏遠征：12回目の遠征は、3月28～31日、千葉県に部員30名を含む総勢34名で、29、30日練習試合4戦2勝2敗。

31日は雨で中止。29日の四街道高グラウンドには、野球部OBに加え東京三四会(昭34卒)が大学応援。総勢30余名となった。本会から柳澤会長、清野幹事長が、金一封を贈り激励。試合後、一関からの小嶋甲子男(昭18年・42回)を含む20名で懇親会。若手県の春期大会は、5月10日から、第90回夏期選手権大会は、7月10日から開催予定。「一関一高硬式野球部を応援するホームページ」  
<http://www1.ocn.ne.jp/kanko/>

## 岩手県人連合会ニュース

恒例の日赤「春季献血事業協力活動」：4月25日 西銀座で実施。黒澤功記県連副会長、柳澤会長、平野幹事が応援参加。20年度岩手県人連合会総会「第34回岩手県人の集い」：5月25日(日)10時受付、京王プラザホテルエミネンスホール(5F)で開催。参加費1人 8,000円。参加希望、興味のある方は在京関中一高事務局までご連絡を。(昨年度参加者 450余名)  
幹事長・県連常任幹事 清野 翼

岩手県東京事務所：<http://www.pref.iwate.jp/hp0401/>  
いわて銀座プラザ：<http://www.pref.iwate.jp/hp0777/>

## 事務局便り

会費納入のお願い  
本会は、会員の皆様様の年会費で運営されています。年会費1名1,000円の納入をお願いいたします。振込用紙は事務局に請求してください。また、友人・知人をお誘いください。  
編集後記  
皆様のご意見とニュースの提供のお願いです。特に若い会員の動向をご存じの方、ご一報ください。(編集委員長・清野)  
・<http://www.press21.jp/kanko/> (同窓会等の写真、仙台支部のリンク)  
在京関中一高会・事務局  
〒164-0001 中野区中野5-67-3 黒澤事務所内  
TEL：03-3388-2316 FAX：03-3388-2570